

# 学校法人武蔵野東学園 武蔵野東小学校

## 【キーワード】

〔施設種別〕高齢者施設 障がい者施設 子ども施設 住宅 学校  
〔運営主体〕市区町村 法人 NPO 個人 補助金 内閣府 国土交通省 厚生労働省 文部科学省  
〔建物形式〕1棟単体型 複数棟集合型 団地型 〔建物状況〕新築 増築 改修 一部改修 既存  
〔対象者〕高齢者 障がい者 子ども ファミリー 多世代



写真1. 石山と西館

「ともに生きる」を教育方針に掲げ、個性を認め、個性を生かす教育をしている。その中核をなす「混合教育」では、健常児と障害児が同じ環境の中で学び、相互に影響の中で共に成長する。健常児と自閉症児の教室が隣り合う教室配置や、廊下から教室内が見える窓の設置等の特徴的な建築形態は、健常児と自閉症児の日常的な交流や、児童らがごく自然に共に過ごす場面につながっている。

見学月日：2019年11月15日(金)

案内者：木村修二 校長先生

見学者：古賀、村瀬、中野、深澤

## ■基本情報

教育方針：ともに生きる

所在地：東京都武蔵野市緑町

設立年月：1977年4月1日

## ■武蔵野東小学校の設立と発展経緯

武蔵野東学園は1965年に武蔵野東幼稚園を開園した当時、応募してきた園児の中に自閉傾向の子供がおり、健常児と自閉症児を分け隔てなく教育する「混合教育」と日々の保育を通して、自閉症児を教育する武蔵野東学園独自の「生活療法」を始めた。その後、保護者から卒園後も武蔵野東幼稚園のように教育して欲しいという要望が上がったため、武蔵野東小学校を1977年に開校した。小学校卒業生たちの進学先の課題が見えてきた開校の約10年後、同様の理念での教育を行う中学校を1983年に開校し、さらに高等専修学校を1986年に開校した。このように、武蔵野東学園は2007年の本邦における法制度改定による特別支援教育やインクルーシブ教育の推進に先駆けて自閉症児への教育を試み、「混合教育」の理念は現在も変わることなく50年以上にわたって続いている。



図2. 北原記念館 正面

バス停から徒歩2～5分

高学年の教室と特別教室、教育センターが入っている。



図3. 校庭

当初はコンクリートだったが、怪我をしやすいためゴムの仕様にした。雨が降ってもすぐに使える。



写真 4. 校訓や毎月変わる学級目標  
黒板の横の貼られていて常に目に入る。



<http://www.musashino-higashi.org/shogaku-shisetsu.htm>

写真 5. 理科室  
机が燃えないようにできている。



写真 6. サブアリーナ  
もともと昇降口として使われていたが、北原記念館ができたことで昇降口の場所を移し、人が集まれる場所を作った。



写真 7. マグネットがつく壁面  
壁をマグネットにすることで掲示物を画鋲で刺して穴をあけることもなくなり、床に画鋲が落ちる心配もない。

## ■運営について

### ・ 在籍者数 (2019.5.1)

564 名 (男子 348 名・女子 161 名)

うち自閉症児 173 名 (男子 140 名・女子 33 名)

各学年 健常児クラス (A,B 組) 30 名 2 クラス

自閉症児クラス (C,D,E 組) 8~10 名 3 クラス

### ・ 職員数 (2019. 5. 1) : 60 名

A,B 組 担任各 2 名 C,D,E 組 担任各 1 名 学年付き 1 名

### ・ 入学状況

例年、健常児が 100~120 名、自閉症児が 50 名前後の志願状況である。幼稚園からの一貫教育を推奨しているため幼稚園から上がってくる子が優先となる。自閉症児の場合、定員 30 名に対して幼稚園からの児童が 25~26 名。外部からは数十名の希望者に対して数名程度という狭き門となる。その年の東幼稚園児のレベルをみて、軽度~重度のバランスがとれるように合否を検討している。

## ■クラス編成について

健常児のクラス編成は 2 年に 1 度、自閉症児のクラス編成は多くの友達と出会ってほしいという考えから毎年行われている。自閉症児のクラス編成では特に支援が必要な児童の在籍数が偏らないように、均等割りのクラス編成としている。また、新人の教員が CDE 組のクラスを担当するときは、同学年にベテランの教員と組ませる時がある。

## ■教育方法や保護者との関係について

### ・ 教育目標

正しく (正しい知識と正しい行動)

強く (強い体と根気の良い心)

美しく (まことの精神)

を校訓とし、体力づくりと体験学習を基盤とした

知・徳・体の学習により、視野の広い、豊かな感性とたくましい生活力を持つ児童を育成する。

### ・ 他では味わえない教育

1, 2 年生は国語、算数、生活科、3 年生以上は国語、算数のみ担任が教え、それ以外は専科の教員が教える。5~6 年生は完全に教科担任制となるのでより掘り下げた授業ができるようになる。

電子黒板やタブレットといった ICT 機器を活用し、興味・関心を持って自ら学ぶ意識を高めている。

1 年生からネイティブの先生との英語の授業があり、

英語の土台をつくとともに、英語の楽しさを学ぶことができる。

正課として剣道（男）、ダンス（女）、バイオリン、ディベートなども学び、趣味の幅が大きく広がる。

行事も豊富で盆踊り、スケート教室（1~2年生）、スキー教室（3~6年）、府中の森芸術劇場を借りての発表会など。さらに、毎年宿泊学習があり、稲作をしたり、沖縄の海で遊んだり自然や歴史・文化を学ぶ。

#### ・ ”自閉症” という話をしない

健常児は自閉症という言葉は知っているが、あえて自閉症という言葉は使っていないので、低学年はただのお友達としか思っていない。小さい時から特別扱いをせずに自然に関わっているため、壁をつくらず、「困っていたら助けてあげる」「パニックを起こしていたら先生を呼んであげる」など自分と違うことを当たり前のように捉えられるようになる。

#### ・ 保護者との関係

健常児の保護者には入学前に自閉症児と共に生活をしている学校だと説明していて、理解をしてもらった上で入学してもらうためトラブルが少ない。自閉症児の保護者とは、日々の家庭や学校での様子、伝達事項などはプランノートや連絡帳などで密に連絡を取り合い、月に1回から2回の下校時懇談を行い、成長したところや課題などを伝える。また、学期末には個人懇談会も行う。

#### ■ 自閉症児の健常児クラスへの参加について

一人ひとりの自閉症児の状態に合わせて全日や1教科、2教科のみ健常児クラスに参加する自閉症児がいる。参加するクラスのメンバーとの相性をみて自閉症児が参加する健常児クラスを決め、安定的な友人関係ができやすいように、参加するクラスを固定している。また、自閉症児クラスの専科の学習（図工、音楽、体育等）を優先としながら、時間割によっては固定クラスとは別のクラスで授業を受けることもある。健常児クラスへの参加は4~7月、9~12月、1~3月の単位で実施されるが、児童の状況によっては途中で元のクラスで学習することに改めたり、試して健常児クラスへの参加を始めたりする場合もある。

#### ■ 建物について

##### ・ 3年生以上の健常児クラスと自閉症児クラスの配置

2006年に新校舎ができ、1~4年生が開校時からある西館、5・6年生が新館を利用する。3年生以上の健



写真8. 健常児クラス

各教室に電子黒板やテレビがあり、より分かりやすく授業ができる。



写真9. 自閉症児クラス

健常児クラスの半分の広さ。広いと児童の意識が分散してしまったり、落ち着かなくなってしまう。



写真10. 廊下から見る教室

子どもの目線の高さに窓があり、通るだけで中の様子が見えるようになっている。

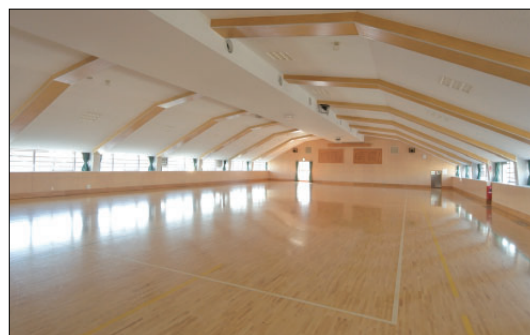


写真11. サンライズホール

プールをホールに改修した。屋上にあるためとても明るく暖かい。



常児クラス A,B 組と自閉症児クラス C,D,E 組の教室は交互に配置されている。2006 年以前は健常児と自閉症児のクラスが別棟だったが、2006 年に新館ができ、5・6 年生が新館に移動したことで教室が空き、現在の教室配置となった。

#### ・ 1・2 年生の健常児クラスと自閉症児クラスの配置

1・2 年生では自閉症児が教室で座って授業を受ける習慣を身につけることを重視するため、自閉症児クラスと健常児クラスとを離して配置される。学習に集中できる環境を整え、3 年生からの授業体制への基礎が築かれる。

#### ・ 自閉症児クラス：C, D, E 組の教室の特徴

自閉症児の意識が分散しないように A,B 組が使用する普通教室を半分または 3 分の 1 程度に仕切った広さの教室が C,D,E 組の教室として使用される。このため構造スパンのなかでの納まりの関係で、教室形状の X-Y 比率が普通教室よりも大きくなる。またその教室を児童と教員との距離が近くなるように横使い（教室としての奥行きが浅くなるよう）利用をしている。

#### ・ 創立当初からの教室の工夫

全クラスの廊下側の窓を児童の目線の高さで設け、廊下から教室の様子が見える。A,B 組は C,D,E 組の学習や活動の様子が見え、視線での緩やかな交流が一人ひとりの児童のことを知るきっかけとなる。またクールダウンの専用の部屋や設えを設けておらず、授業中にパニック状態となった児童がいた場合、基本的にその教室で落ち着かせるが、場所を変えた方が良いと判断したときは、近くの空き教室に移動して、子どもに分かりやすい言葉で言い聞かせることもある。教員が塾を離れる際は指示を受けられる児童にその場をお願いしたり、A,B 組の、手が空いていて余裕のある教員に何かあれば知らせてもらえるように依頼する。

#### ・ e パル（放課後児童クラブ）

健常児が 20 名ほど利用しており、低学年が多い。自閉症児は 12~13 名ほどが利用する。外部に委託せず、いつも子供の様子を見ている専任職員を配置し、職員室を小学校教員と同じにすることで連携を取りやすくなる。



写真 12. 離れている東館

特別教室や放課後児童クラブ、武蔵野東記念館がある。

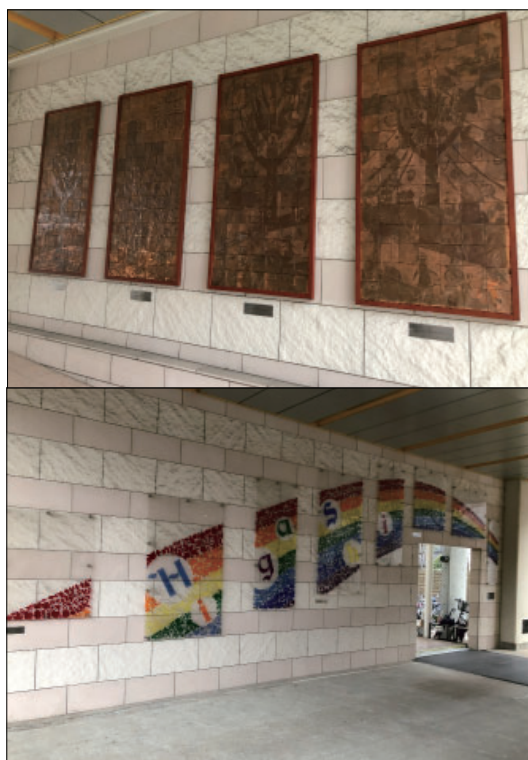


写真 13. 14. 卒業制作

6 年生の時に 1 学年で一つの物を作る。

(上) 春夏秋冬の絵を銅板でつくった

(下) それぞれの好きな形を組合わせた虹



写真 15. e パル

e パルでは宿題や課題学習を済ませたり、校庭で遊んだりする。